



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 東洋水産株式会社

コード番号 2875 URL <https://www.maruchan.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）住本 憲隆

問合せ先責任者 （役職名）経理部長 （氏名）早川 崇 TEL 03-3458-5246

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	135,667	7.8	22,573	23.4	25,090	22.0	18,230	19.5
2026年3月期第1四半期	125,803	0.8	18,300	△7.6	20,565	△8.1	15,251	△11.4

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 22,580百万円（125.6％） 2026年3月期第1四半期 10,008百万円（△66.6％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	187.53	—
2026年3月期第1四半期	153.09	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	644,963	548,965	83.1
2026年3月期	642,877	543,927	82.6

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 535,928百万円 2026年3月期 530,903百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	80.00	—	140.00	220.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		80.00	—	140.00	220.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	274,500	7.2	42,000	5.6	45,400	3.7	33,600	0.8	346.10
通期	560,000	4.4	82,000	△4.4	88,500	△5.9	65,600	△6.5	676.17

（注1）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（注2）当社は、2026年5月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、自己株式の取得の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	110,881,044株	2026年3月期	110,881,044株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	13,929,107株	2026年3月期	13,538,678株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	97,212,204株	2026年3月期1Q	99,626,466株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかに回復する状況にありました。先行きにつきましては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されますが、中東情勢やアメリカの政策動向及び金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は135,667百万円（前年同四半期比7.8%増）、営業利益は22,573百万円（前年同四半期比23.4%増）、経常利益は25,090百万円（前年同四半期比22.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18,230百万円（前年同四半期比19.5%増）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間末の為替換算レート（期中平均レート）は、159.50円/米ドル（前第1四半期連結累計期間末は、144.60円/米ドル）であります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

水産食品事業は、外食向け商品の販売が堅調に推移したものの、コンビニエンスストア向け商品の販売減少や一部商品の価格改定の影響等により、売上高は7,796百万円（前年同四半期比1.1%減）、セグメント利益は、売上高の減少に加え、原材料価格の高止まり等により352百万円（前年同四半期比17.0%減）となりました。

海外即席麺事業は、米国では25年7月に実施した価格改定以降、新商品の発売やマーケティング活動等の積極的な販売施策を実施し需要喚起に努めましたが、前年の価格改定前需要の反動等により販売は前年を下回る水準で推移いたしました。一方、メキシコでは26年4月に実施した価格改定後もカップ麺、袋麺ともに好調に推移いたしました。これらに加え、円安の影響もあり、売上高は64,372百万円（前年同四半期比15.6%増）、セグメント利益は、包材の紙カップ化や輸入原材料の高騰による原材料費等の増加を価格改定等でカバーし、16,941百万円（前年同四半期比33.1%増）となりました。

国内即席麺事業は、カップ麺では主力商品の「赤いきつねうどん」「緑のたぬき天そば」等の和風カップ麺シリーズが好調に推移したほか、「マルちゃん正麺カップ」シリーズも貢献し、増収となりました。袋麺では「マルちゃん正麺」シリーズが好調に推移し、増収となりました。その結果、売上高は25,211百万円（前年同四半期比6.4%増）、セグメント利益は、原材料費の高騰や運賃保管料の増加等がありましたが、売上高の増加により2,425百万円（前年同四半期比13.8%増）となりました。

低温食品事業は、生麺では「マルちゃん焼そば3人前」シリーズの期間限定品の発売、全温度帯連動のキャンペーン、「バリバリ無限」シリーズのディスプレイコンテスト等を実施し拡売に努めましたが、前年好調だった涼味品が前年を下回ったこと等により、減収となりました。冷凍食品では市販用の「ライスバーガー」シリーズが伸ばしましたが、業務用冷凍麺は25年6月に実施した価格改定の影響等により、減収となりました。その結果、売上高は15,849百万円（前年同四半期比1.4%減）、セグメント利益は、人件費や減価償却費等の増加により1,681百万円（前年同四半期比27.3%減）となりました。

加工食品事業は、フリーズドライ商品は時短・簡便や備蓄需要のニーズを背景に堅調に推移いたしました。米飯商品においては26年2月の価格改定による影響や、生米価格の下落等を受け、減収となりました。その結果、売上高は5,214百万円（前年同四半期比2.1%減）、セグメント損失は、米飯商品における価格改定の効果や人件費、動力費等の減少により前年同四半期と比べ改善し、17百万円（前年同四半期はセグメント損失392百万円）となりました。

冷蔵事業は、アイスクリームの保管量の減少等の影響はあったものの、配送サービスの取扱拡大及び価格改定により、売上高は6,931百万円（前年同四半期比3.4%増）、セグメント利益は、運送量の増加に伴う人件費、運送料等の増加がありましたが、外部委託費用の減少及び価格改定による増収効果により940百万円（前年同四半期比14.1%増）となりました。

その他は、主に弁当・惣菜事業であります。売上高は10,291百万円（前年同四半期比1.2%減）、セグメント利益は359百万円（前年同四半期比21.3%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比べ総資産は2,085百万円増加し、644,963百万円、純資産は5,038百万円増加し、548,965百万円となりました。この主な変動要因は、以下のとおりであります。

資産は、主に現金及び預金は減少しましたが、商品及び製品、建設仮勘定が増加しました。負債は、主に繰延税金負債は増加しましたが、未払費用、未払法人税等が減少しました。純資産は、主に自己株式の取得に伴う自己株式の増加により減少しましたが、利益剰余金、為替換算調整勘定が増加しました。

この結果、自己資本比率は83.1%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績が想定していた範囲内で推移しているため、2026年5月15日に発表した見通しを変更しておりません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	261,783	258,883
受取手形、売掛金及び契約資産	63,336	65,256
商品及び製品	19,845	22,086
仕掛品	488	534
原材料及び貯蔵品	24,733	24,238
その他	8,095	7,838
貸倒引当金	△641	△635
流動資産合計	377,642	378,202
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	80,950	80,427
機械装置及び運搬具（純額）	51,419	50,712
土地	35,971	36,037
リース資産（純額）	1,105	1,057
建設仮勘定	40,107	42,254
その他（純額）	1,545	1,530
有形固定資産合計	211,099	212,019
無形固定資産		
のれん	598	580
ソフトウェア	2,210	2,059
ソフトウェア仮勘定	5,254	5,457
その他	267	266
無形固定資産合計	8,330	8,363
投資その他の資産		
投資有価証券	42,429	43,283
繰延税金資産	764	631
退職給付に係る資産	82	82
その他	2,529	2,380
投資その他の資産合計	45,805	46,378
固定資産合計	265,235	266,760
資産合計	642,877	644,963

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,234	32,738
短期借入金	481	431
リース債務	309	309
未払費用	27,900	24,081
未払法人税等	6,278	4,799
役員賞与引当金	175	47
資産除去債務	2	2
その他	4,927	4,564
流動負債合計	72,310	66,974
固定負債		
リース債務	2,488	2,410
繰延税金負債	10,012	12,569
役員退職慰労引当金	319	314
退職給付に係る負債	9,910	9,870
資産除去債務	200	200
その他	3,708	3,656
固定負債合計	26,639	29,022
負債合計	98,950	95,997
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,969	18,969
資本剰余金	22,942	22,942
利益剰余金	461,757	466,359
自己株式	△55,684	△59,514
株主資本合計	447,984	448,757
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,883	18,429
繰延ヘッジ損益	31	18
為替換算調整勘定	59,781	63,617
退職給付に係る調整累計額	5,222	5,104
その他の包括利益累計額合計	82,918	87,170
非支配株主持分	13,024	13,037
純資産合計	543,927	548,965
負債純資産合計	642,877	644,963

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	125,803	135,667
売上原価	89,283	93,503
売上総利益	36,520	42,164
販売費及び一般管理費	18,219	19,590
営業利益	18,300	22,573
営業外収益		
受取利息	1,741	1,845
受取配当金	409	428
持分法による投資利益	40	54
雑収入	258	296
営業外収益合計	2,450	2,626
営業外費用		
支払利息	48	45
為替差損	43	—
雑損失	93	63
営業外費用合計	185	109
経常利益	20,565	25,090
特別利益		
固定資産売却益	2	25
投資有価証券売却益	—	66
補助金収入	18	—
特別利益合計	21	92
特別損失		
固定資産除売却損	99	124
その他	—	1
特別損失合計	99	125
税金等調整前四半期純利益	20,487	25,056
法人税、住民税及び事業税	4,569	4,337
法人税等調整額	514	2,410
法人税等合計	5,084	6,747
四半期純利益	15,403	18,309
非支配株主に帰属する四半期純利益	151	78
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,251	18,230

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	15,403	18,309
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	953	586
繰延ヘッジ損益	△2	△13
為替換算調整勘定	△6,436	3,836
退職給付に係る調整額	51	△121
持分法適用会社に対する持分相当額	39	△17
その他の包括利益合計	△5,394	4,271
四半期包括利益	10,008	22,580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,835	22,482
非支配株主に係る四半期包括利益	173	97

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年5月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式390,400株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において単元未満株式の買取も含め、自己株式が3,829百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が59,514百万円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	4,168百万円	4,730百万円
のれんの償却額	18	18

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
日本	7,798	—	23,686	16,080	5,328	6,703	59,597	10,376	69,974	—	69,974
米州	—	55,698	—	—	—	—	55,698	—	55,698	—	55,698
その他	86	—	—	—	—	—	86	44	130	—	130
売上高(注) 4	7,884	55,698	23,686	16,080	5,328	6,703	115,382	10,420	125,803	—	125,803
外部顧客への売上高	7,884	55,698	23,686	16,080	5,328	6,703	115,382	10,420	125,803	—	125,803
セグメント間の内部 売上高又は振替高	355	—	32	4	0	301	694	18	712	△712	—
計	8,240	55,698	23,718	16,084	5,329	7,005	116,077	10,438	126,516	△712	125,803
セグメント利益又は 損失(△)	425	12,730	2,131	2,311	△392	824	18,029	296	18,326	△26	18,300

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△26百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△261百万円、棚卸資産の調整額218百万円及びその他の調整額16百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に営業外取引との相殺消去額であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4 売上高は主に顧客との契約から認識された収益であり、その他の源泉から認識された収益の額に重要性はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
日本	7,675	—	25,211	15,802	5,214	6,931	60,835	10,238	71,073	—	71,073
米州	—	64,372	—	—	—	—	64,372	—	64,372	—	64,372
その他	121	—	—	47	—	—	168	53	221	—	221
売上高(注) 4	7,796	64,372	25,211	15,849	5,214	6,931	125,375	10,291	135,667	—	135,667
外部顧客への売上高	7,796	64,372	25,211	15,849	5,214	6,931	125,375	10,291	135,667	—	135,667
セグメント間の内部 売上高又は振替高	357	—	25	0	0	294	679	15	694	△694	—
計	8,153	64,372	25,237	15,850	5,214	7,225	126,055	10,307	136,362	△694	135,667
セグメント利益又は 損失(△)	352	16,941	2,425	1,681	△17	940	22,323	359	22,683	△109	22,573

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△109百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△258百万円、棚卸資産の調整額148百万円及びその他の調整額0百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に営業外取引との相殺消去額であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4 売上高は主に顧客との契約から認識された収益であり、その他の源泉から認識された収益の額に重要性はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。